



## ロータリーは 分かちあいの心

2007～2008年度  
国際ロータリーのテーマ  
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

会長／関野政人 幹事／山本讓二

DISTRICT 2510 JAPAN

# 留萌ロータリークラブ 会報

2007▶2008 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

みんなロータリーが好きだから  
出会いを創造し活性化しよう

## プログラム

- |                           |                                      |                       |
|---------------------------|--------------------------------------|-----------------------|
| ●本日<br>「年次総会」             | 会員誕生日<br>11月29日 石川 健治<br>12月3日 対馬 健一 | ご夫人誕生日<br>12月1日 山本由紀子 |
| ●次週予定<br>「年忘れ家族会」 親睦活動委員会 |                                      |                       |

No. 2305  
第20回 11月28日



前  
例  
会

会員総数……………51名  
出免会員……………3名  
欠席会員……………17名  
出席率……………64.58%

前  
々  
会

第17回 11月7日  
欠席会員……………15名  
メイクアップ……………3名  
修正出席率……………75.51%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

## ✍️ 会長報告 ……………

- 留萌みなとライオンズクラブより、年忘れパーティーの案内が届いております。
- 留萌RCも12月5日が年忘れ家族会です。親睦委員会が楽しい企画を考えています。景気の状態は芳しくはありませんが、今年のごことは本当に忘れて、来年に期待したいものです。平成19年も師走を間もなく迎えます。健康に気を配りもうひと踏ん張りしましょう。

仕委員長です。

- 2) 苫小牧RCより50周年記念誌が届いております。回覧いたします。
- 3) 国際ロータリー第2510地区ガバナーエレクト事務所より、2008 - 2009年度主要行事日程が届いております。

会報受領先

- ・砂川RC 1840号～1844号

## 👤 幹事報告 ……………

- 1) 留萌地方特別支援教育連盟より、合同学習会の案内が来ております。日時は11月27日午前10時より留萌中央公民館で行なわれます。出席者は会長、会長エレクト、幹事、社会奉

## 👤 委員会報告 ……………

親睦活動委員会

行徳副委員長

12月5日の年忘れ家族会の出欠をまだされていない方は、本日テーブルに参加確認表が置いてありますので、記入をお願いします。会員、その他大人、高校生、中学生、小学生、幼児の

各欄にご記入ください。宜しくお願いします。

 **プログラム**.....

 **3分間情報**.....

会員研修委員会 澤田委員長

「5 クラブの幹事さん」

ロータリークラブの代表権者は2人おります。

1人は文化概念を保ち、1人は執行権という実権を持っています。つまり、ロータリーの奉仕哲学を提唱する最高の人として会長がおりまして、任期は1年であります。毎年交替することになっております。それに対して世俗の論理を使って世俗の人間とけりをつけていく、クラブの内部外部のすべての管理の接点になる最高の役職として幹事がございます。これは専門業務ですから、毎年交替に服さないのが原則であります。私の調べた範囲では、現在日本のクラブでは、ほとんど1年で交替しているのが現状です。過去に我が国に於いて、戦後ガバナーになり国際ロータリーの理事になり、第1副会長になり、その次には日本から初めてのRI会長になるはずだった、小林雅一氏は東京クラブの幹事歴任11年でありました。

また、大阪クラブの露口四郎氏は27年ぐらい幹事をやっております。記録では幹事歴13年となっておりますが、その後戦時中の隠れロータリーの時代に、大阪金曜クラブの幹事をやり、戦後また幹事をやっておりますから、延べにすると27年なったようです。なお、アメリカのクラブでは20年・30年はザラだという事です。

 **ニコニコBOX**.....

- ・地元新聞に記事が掲載されました 平間会員
- ・良い事がありました 齋藤会員

前 回	506,000円
今 回	2,000円
累 計	508,000円

「ロータリー財団のプログラム」

きれいな水の手に入らない村に井戸を掘るための資金の援助、環境保護、次世代を教育するための奨学金の提供など、財団の補助金とプログラムを通じて、ロータリアンや支援者の人々は、世界をより良い場所に変えています。ロータリアンは、補助金とプログラムを活用することによって、第一目標であるポリオの撲滅をはじめ、世界中でのロータリーの人道的使命に力を注ぐことができるのです。

ポリオプラス

ロータリアンは、ポリオ撲滅のために何十万という人々を動員し、活動を続けています。これまでロータリアンは基幹設備の不足、極貧、内戦といった問題を抱える多くの国々において身体的自由を奪うこの病気に子供達が冒されることのないよう、徹底的な予防接種活動を行ない、その後の監視活動が厳密に行なわれるよう尽力してきました。1985年のポリオ・プラス・プログラムの発足以来、20億以上の子供達が経口ポリオ・ワクチンを接種してきました。

ポリオ・プラス補助金：主に、国別のポリオ・プラス委員長や、主要な協同組合組織(世界保健機関、ユニセフなど)が申請する補助金。全国予防接種日、ポリオ・ウイルス伝染の監視活動、その他の活動など、ポリオ常在国、近年発生国、高リスク国における取組みを支援します。

ポリオ・プラス・パートナー補助金：ポリオ常在国で行なわれる社会動員や監視活動のために、ロータリアンが用途を指定して寄付することが出来る補助金です。

人道的補助金プログラム

災害復興：ロータリアンが特定の災害に対する義援金を寄付するためのプログラムです。寄せられた義援金は、現地に設置された委員会が、復興活動を支援するために管理・配分します。このプログラムは2005～06年度に創

設され現在、ハリケーン「スタンとウィルマ」(グアテマラとメキシコ)、ハリケーン「ウィルマ」(アメリカ)、インド・パキスタン地震、南アジア災害連帯基金の4つの災害復興用の口座が設置されています。これらの口座に寄せられた寄付金は総額640万ドルでした。

地区補助金：地区が地元や海外で行なう奉仕活動を支援します。2003～04年度にプログラムが創設されて以来、1160件以上、総額1700万米ドルを超える補助金が、60カ国近くの地区に授与されています。

保健、飢餓追放および人間尊重(3-H)補助金：人々の健康状態の改善、飢餓の緩和、人間性の尊重を推進する2年から4年にわたる大規模なプロジェクトに資金を提供するものです。1978年以来、75カ国の280件以上のプロジェクトに、ロータリー財団を通じて、7400万米ドルが授与されています。

マッチング・グラント：ロータリークラブと地区の国際奉仕プロジェクトに対する組み合わせ補助金(寄付に対して、同額または一定率額が財団から組み合わせさせて支給されるもの)として授与されるものです。1965年以来、167カ国における24000件以上のマッチング・グラントのプロジェクトに2億5700万米ドルを超える補助金を提供しています。

ボランティア奉仕活動補助金：地域社会で必要とされているプロジェクトを計画したり、重要な奉仕活動を行なったりするために、資格あるロータリアンと、その配偶者が海外に渡航する費用を援助するものです。このプログラムは2006-07年度に開始され、現在までに、40カ国以上の200件を超えるプロジェクトに、およそ100万米ドルが支給されています。

## 教育的プログラム

国際親善奨学金：財団が提供する世界で最も規模の大きい国際的な奨学金プログラムの1つです。奨学生は外国へ留学するかたわら、非公式の親善使節としての役割を果たします。1947年以来、110カ国から47000人以上の学生

にロータリー財団を通じて奨学金が授与され、その総額は4億7600万ドルを上回っています。研究グループ交換(GSE)：毎年授与されるこの補助金は、対になった2つのロータリー地区に授与され、多種多様な職業に従事するロータリアン以外の人々から成るチームを海外に派遣するために、その費用に充てられます。受入側のロータリアンが、4週間から6週間の職業的、研修的、文化的な交流を含む日程を作成します。1965年以来、100カ国から57000人(約1万2000チーム)を超える人々が参加し、その費用は、9200万ドルを上回っています。

ロータリー平和および紛争解決研究プログラム：2006年7月に開始されたこのプログラムは世界中の専門職業人に、紛争解決と調停手段に関する研修を受ける機会を提供するものです。3カ月間の集中コースが、タイ、バンコクにあるチュラロンコン大学に設置された、平和と紛争解決のためのロータリーセンターで開講されます。

ロータリー世界平和フェロースhip：毎年60名までのフェローがフェロースhip奨学金を受領し、6つの平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センターの1つで、修士課程の研究にあたります。2002-03年度のプログラム開始以来60カ国から、233名のフェローが参加し、その費用は1400万ドル近くに上がります。

大学教員のためのロータリー補助金：この補助金は、3カ月から10カ月間、発展途上国で教鞭を執る大学教員に授与されるものです。

1985年以来、400万ドルを超える補助金によって、430名以上の教員が、専門知識を生かして発展途上国の大学で教えてきました。

## 年次総会

年次総会は、次年度役員・理事を選挙する例会で、標準ロータリークラブ定款では細則に定めるところに従い、毎年12月31日までに開催されなければならない。ですが留萌クラブでは、R Iの定款・細則に矛盾しない限りでクラブ自身の事情に応じた細則の変更をしております。

留萌クラブ細則第5条第1節で、本クラブの年次総会は、毎年11月中に開催されるものとする。

そしてこの年次総会において、次年度の役員および理事の選挙を行わなければならない。第3節では、会員総数の3分の1をもって本クラブの年次総会および例会の定足数とする。

第3条第1節、理事および役員を選挙するには、その会合の1ヶ月前の例会で、その議長たる役員が会員に対して理事および役員を指名することを求めなければならない。

その指名は、クラブの決定する指名委員会によって行い、年次総会において採択されるものとする。

指名委員会は、理事会によって任命される。